

# 宮内小だより

子どもと共に

No. 12

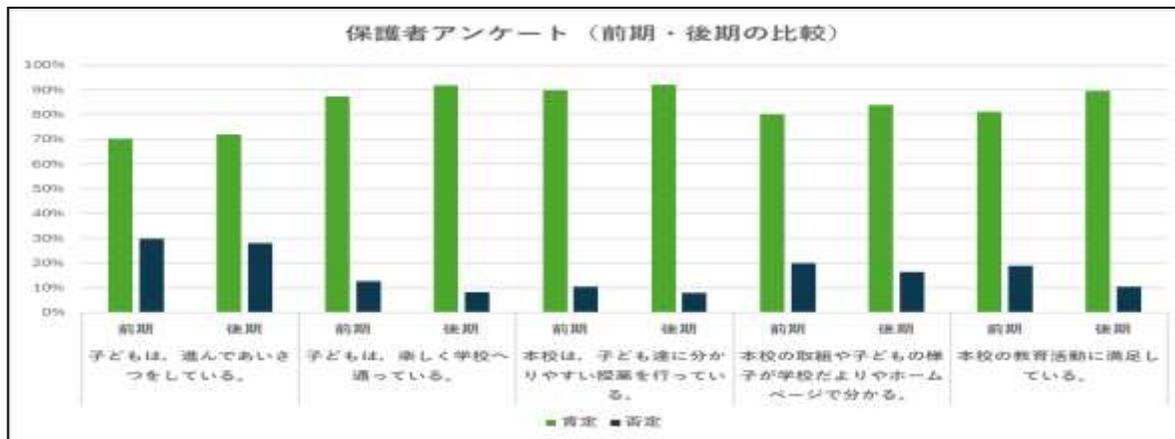
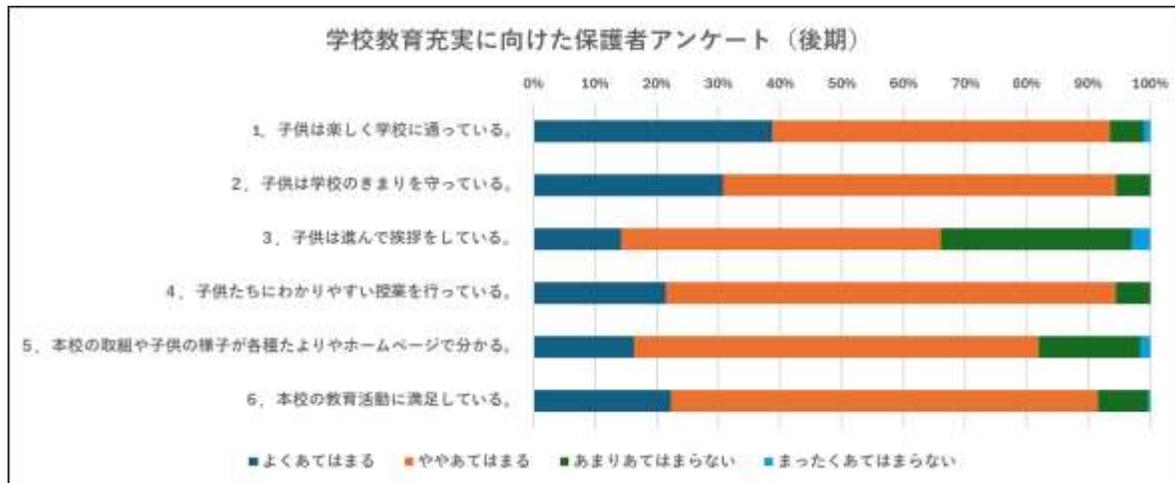
<http://www.hatsukaichi-edu.jp/miyauchi-e/>

令和8年2月20日

廿日市市立宮内小学校

## 学校生活充実に向けたアンケート結果より

12月に保護者の方に「学校教育充実に向けたアンケート」を配信し、2学期の学校の取組の様子を回答していただきました。ご協力ありがとうございました。



後期アンケートの肯定的評価を前期アンケート結果と比較すると、「1. 子どもは、進んであいさつをしている」+2ポイント、「2. 子どもは、楽しく学校へ通っている」+4ポイント、「3. 本校は、子ども達に分かりやすい授業を行っている」+2ポイント、「4. 本校の取組や子どもの様子が学校だよりやホームページで分かる」+4ポイ

ント、「5. 本校の教育活動に満足している」+9ポイントと、すべての項目において肯定的評価が向上していました。学習指導では、各教科で学習計画表を活用し単元のゴールと見通しを児童と共有しました。また、特別支援教育の考え方を取り入れ、学習活動の中で複数の学びの選択肢を用意し自己決定して取り組ませました。子ども達は自分なりの学び方を模索する中で、自分の苦手さと向き合い、わからないことをそのままにせず、粘り強く前向きに取り組む姿が見られるようになりました。学びの質の高まりが児童アンケートの「学校の授業がわかる」の肯定的評価94%（+3ポイント）の結果にも現れていると考えています。昨年度からの各種たよりのメール配信、児童の学びの様子のHP 宮内小日記での発信等も保護者の皆様からご理解をいただいた結果だと思っています。しかし、「子どもは進んで挨拶をしている」については72%（+2ポイント）ではありましたが、依然として低い結果となっています。児童アンケートにおいても66%という結果です。挨拶は相手を大切に思う気持ちを伝える最も身近で温かいコミュニケーションです。校内だけでなく地域の皆様とのつながりを深める大切な機会にもなります。今後も、学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちが気持ちのよい挨拶を自然に交わせる環境づくりに取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 宮内小学校の子供たちのために

～宮内育英会より入退場門を寄贈していただきました～

山口宝一さんは、明治27（1894）年に宮内小学校卒業しました。16歳の時、新天地を求めてアメリカに移住し、苦勞しながらも大正8（1919）年に農場主になられました。その後、昭和28（1953）年、アメリカで築いた財産をもって日本に帰国されました。渡米中に、安心した生活ができるようになった人は社会貢献活動や寄付などをするという心豊かな生き方に感銘を受け、帰国後には自分もいつか同じような生き方をしたいと考えておられたそうです。そして、子育てを終えた昭和41（1966）年、自分が卒業した宮内小学校に850万円（現在の価値に換算するとおよそ1億円）相当の株券を寄付されました。その寄付を守るために、学校とPTAの人達が中心となってできたのが宮内育英会です。宮内育英会では、寄付された株券からの配当金を管理し、未永く宮内小学校の子ども達のために使えるようにしています。今年度は、移動式入退場門一式を寄贈いただきました。来年度の運動会で披露します。ありがとうございました。

